



Photo Peter Thiesen

デザイナー・オブ・ザ・イヤー部門

Philippe Nigro

フィリップ・ニグロ

モダンなデザインに香るフランスのエスプリ

1975年生まれの実力派。ミケール・デルルッキのアシスタントとして活躍し、独立後ビッグメゾンと次々に協業してその頭角を現す。今年もエルメスやクヴァドラ、リーン・ロゼから作品を発表。パリで開催された2014年のメゾン・エ・オブジェでは、デザイナー・オブ・ザ・イヤーに輝く。<http://www.philippenigro.com/>



1



2



3

1 フランスのリーン・ロゼのためにデザインした今年の新作「コッセ」 2 ランプヘッドの向きや角度を自在に操れる「ルミエール ノワール」／共にリーン・ロゼ東京 3 エルメスからは「キュリオシティ・ドゥ・エルメス」を発表。シューズのほかに食器用のキャビネットも。／エルメスジャパン



エル・デコ日本版が選んだ 2014年のベスト・デザイン!

世界24カ国のエル・デコ編集長の投票で決定する「エル・デコ インターナショナル デザイン アワード(通称EDIDA)」。
今年のベスト・デザインとして日本版がノミネートした作品をご紹介します。ここから来年ミラノ・サローネで発表される大賞が誕生するかも!?



Photo Federico Fiorani

ヤング・デザイン・タレント部門

Studio Formafantasma

スタジオ フォルマファンタズマ

自然や歴史への考察から生まれるオブジェ

ヴィトラやフェンディ、ロッサーナ・オルランディのギャラリーで作品を発表してきたイタリア出身の2人組、アンドレア・トリマルキ(右)とシモーネ・ファレジン。農業廃棄物や火山灰などの自然素材を美しい作品に昇華させている。ともにデザインアカデミー・アイントハーフェン卒。<http://www.formafantasma.com/>

ロンドンのギャラリー・リビー・セラーズから発表したのは、エトナ火山の噴火に影響を受けたDe Natura Fossiliumシリーズ。溶岩を溶かして固めた「Big Pillar」(1)と「Valle del Bove」(2)

Photos Luisa Zanzani



1

2

ELLE DECOR Japan

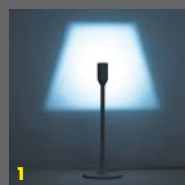
Young Japanese Design Talent 賞

日本の次世代を担う若い才能を広く世界へと知らせるために、エル・デコ日本版が独自に設けた「ヤング ジャパニーズ デザイン タレント賞」。インテリアに限らず、アートや建築的なアプローチで活躍する彼らに注目!



YOY
ヨイ

空間デザイナーの小野直紀(左、1981年生まれ。京都工芸繊維大学建築設計専攻卒)と、山本侑樹(1985年生まれ。金沢美術工芸大学製品デザイン科卒)が2011年に設立したデザインスタジオ。東京を拠点に国内外で活動。'14年、ミラノ・サローネ サテリテでの展示は大きな話題を呼んだ。<http://yoy-idea.jp/>



1



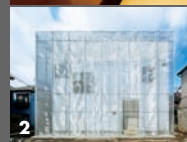
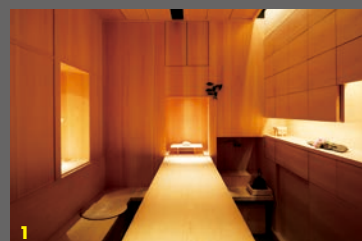
2

Photos Yoko Furukawa



Fumihiko
Sano
佐野文彦

1981年生まれ。中村外二工務店にて数寄屋大工として経験を積む。その後設計事務所などを経て、2011年にstudio PHENOMENONを設立。大工時代に肌で感じた技術や素材、伝統文化を現代的な感覚で再解釈し表現している。<http://fumihikosano.jp/>



1 檜を用いたパリの折形専門店「MIWA」 2 ステンレスメッシュの囲いが内外の境界が曖昧な空間をつくる個人宅「MoyaMoya」



スターデザイナーが手がけた、珠玉のプロダクト



家具部門

Segreto/Molteni&C

セグレット/モルテーニ

キャビネットを開けるとデスクに様変わり!

ロン・ジラッドがイタリアのモルテーニから発表した「セグレット」。シャープなフォルムのキャビネットにはライトが内蔵されており、扉がそのままデスクの天板になる仕組み。収納とデスクの機能を併せもった、現代のライティングビューローだ。／アルフレックスジャパン



照明部門

Pantographe/Hermès

パントグラフ/エルメス

エルメスならではの職人技が光るライト

ミラノの重鎮ミケーレ・デルルッキが製図道具に着想を得たという「パントグラフ」。レザー張りの仕上げや美しい光にクラフツマンシップが見て取れる、エルメス初となる照明コレクション。／エルメスジャパン



シーティング部門

Diapositive Sofa/Glas Italia

ディアポジティブ ソファ/グラスイタリア

ブルレック兄弟がデザインした、ガラスのソファ

ロナン&エルワン・ブルレックが手がけたグラスイタリアの「ディアポジティブ ソファ」。熱溶着で4枚のガラスパネルを組み合わせたシンプルな構成で、軽やかな造形美を実現した。詩的ながら緊張感のあるデザインに、一度は座ってみたい。／エ インテリアズ



カーペット・床材部門

Tierras/Mutina

ティエラ/ムティーナ

タイルで描く幾何学パターン

パトリシア・ウルキオラがデザインしたのは、8色、8つのフォーマットからなるタイルのコレクション。組み合わせによって多彩なグラフィックパターンが生まれる。／トーヨーキッチンスタイル

アウトドア部門

Ghost Out/Gervasoni

ゴーストアウト/ジェルバゾーニ

パオラ・ナヴォーネ作のソファ「ゴースト」がアウトドア仕様!

シートを被った「ゴースト」のようなソファは、座り心地も抜群。カバーリングのバリエーションも豊富に揃う。立体的に縫合されたカバーをすっぽり被せるだけで、イメージチェンジも簡単!／ジェルバゾーニ トーキョー





デザインの魅力を教えてくれる、ユニークな発想に脱帽！



キッチン・キッチン用品部門

Sharp Kitchen/ Varenna Poliform

シャープ キッチン / ヴァレンナ・ポリフォーム

キッチンの概念を覆す彫刻的なフォルム

建築家ダニエル・リバスキンドがデザインしたキッチンプロジェクト。人工大理石を使用したソリッドでエッジが際立つカウンターは出色の存在感。クチャーナの開催年だったミラノ・サローネのなかでも注目を浴びた。http://www.poliform.it/varenna_en.html/



Photos KEIICHIRO MURAGUCHI

テーブルウェア部門

Machine Collection/ Diesel Living

マシーン コレクション / ディーゼル リビング

ボルトやスパナがテーブルウェアに！

ディーゼルの世界観を反映したホームコレクションの最新作は、セレッティ社とのコラボで生まれたテーブルウェア。ボルトや歯車をモチーフにしたプレートやグラス、持ち手がスパナになったカトラリーなどを展開する。／ディーゼル ジャパン

ファブリック部門

dop/minä perhonen

ドップ / ミナ ペルホネン

経年変化を楽しめるインテリアファブリックの傑作

ミナ ペルホネンが開発した、両面モリススキンのダブルフェイスの生地「ドップ」。使い込むうちに表面の糸が擦り切れて裏の色が徐々に現れてくる。家具を長く愛着をもって使いながら、経年変化を楽しめるようデザインされている。色の組み合わせは全17パターン。／ミナ ペルホネン



ベッド・寝具部門

Magi/Flexform

マジ / フレックスフォルム

隅々にまでチツェリオの美学を反映

伝統的なチェスターフィールドながらボタン締めを裏側にしているなど、ヒネリの効いたデザインが新鮮な「マジ」はアントニオ・チツェリオの作品。細部まで美しいデイベッドが、至福のときへと誘う。／FLEXFORM TOKYO



バス・バスルーム用品部門

Axor Starck V/ Axor

アクサースタルクV / アクサー

渦巻く水流もデザインの一部

フィリップ・スタルクの才能がスパークした「アクサースタルクV」。クリスタルガラスのスプラウト部から、渦を巻きながら湧きあがりほとばしる水流が見える。水の流れをデザインの一部に組み込んだ、画期的な水栓金具。／ハンスグロエ ジャパン



壁紙・塗料・壁装材部門

Wallcoverings Collection/Maison Martin Margiela

ウォールカバーリング コレクション / メゾン マルタン マルジェラ

独創的なデザインと印刷技法が生み出す、オプティカル・イリュージョン

トロンブリユや異素材ミックス、モチーフの再解釈によって、視覚効果を生む全5種類の壁紙シリーズ。ベルギーのオメクス社とのパートナーシップで誕生した。／メゾン マルタン マルジェラ トウキョウ

1 不織布にフラワーブーケをスクリーンプリントした「ボワン・ドゥ・クロワ」 2 金箔・銀箔を使用して伝統の柄をリデザインした「モザイク」

